しずくいしの風

高次脳機能障がいメールニュース

第 33 号　<2016 年 9 月　発行>

いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障がい者支援普及事業

目次

1　高次脳機能障がい者に対する作業療法士の関わり

2　イベント情報

3　編集後記

10月の第２月曜日は体育の日です。適度に身体を動かす習慣を作りたいですね。

1．高次脳機能障がい者に対する作業療法士の関わり

作業療法とは？

何らかの障がいのために、日常生活活動・仕事・趣味活動・社会参加など、それまで馴染んでいた日々の作業を実現出来なくなった人に対して、再び作業活動を日常生活で実現出来るよう支援や指導を行います。

高次脳機能障がい者に対する作業療法の流れ

〈評価〉

まずは、日常生活の中でどんな事が出来て、出来ないのかを観察する事が重要です。また、注意力や記憶力、遂行能力などについてテストバッテリーを用いて評価します。※家族から病前の性格や生活を聴取し、病気によるものか見極める事も大切です。

〈訓練〉

評価から得られた情報をもとに問題点を本人と共有します。
その後、機能訓練も行いながら代償手段を使った反復訓練を行います。

＊例）記憶障がいの患者Ａさんの例
「さっき言った事、言われた事を忘れる」

〈評価〉

① 脳機能（記憶力や注意力など）を検査します。
② 日常生活活動（食事・着替え・排泄・入浴など）、社会生活に関連した行為(時間管理、金銭管理など)を観察し、評価します。

〈訓練〉

① 記憶力や注意力の機能訓練を行う
② 記憶を代償する手段が定着できるよう反復し練習します
・ メモ帳や携帯電話のメモ・アラーム機能を使用
　→口頭で伝えられた事を書き込んで常に確認できるようにする
③ 思い出しやすい環境調整をする
・ 頻繁に使用する物は特定の置き場所に置いたり、印をつける
・ 日にちや時間、服薬などを書いたカレンダー表を目につきやすい場所に貼り、定着するまで声かけしながら一緒に確認する

＊ ①～③を何度も繰り返し練習する事で本人の記憶障がいに対する意識づけが可能になり、正確な作業の定着が期待できます。

2. イベント情報

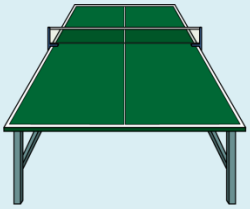
岩手県高次脳機能障がい者支援普及事業

じゃじゃじゃ交流会 in 七ツ森

日時：平成２８年１１月２７日（日）
　１３：００　～　１６：００　（１２：３０～受付開始）

場所：いわてリハビリテーションセンター　研修室
　　岩手県岩手郡雫石町七ツ森１６－２４３

参加費：５００円（茶菓代）



卓球バレー＆お茶会を
一緒に楽しみましょう♪
未経験者、大歓迎です！

定員：４０名

参加対象：高次脳機能障がい者及び家族
　　医療、福祉、行政関係者等高次脳機能障がいの支援者、県民

主催　いわてリハビリテーションセンター
お申込・お問合せ　TEL:019－692－5800　FAX:019－692－5807
E-mail:koujinou-shien-reha@irc.or.jp
締め切り　平成 28 年11月4日(金)　高次脳機能障がい交流会担当(佐藤・上田)

3. 編集後記

秋がいよいよ本格的に近づいてきましたね。今回は、作業療法の視点から高次脳機能障害について触れていますので、ぜひ参考になさってください。季節の変わり目ですが、体調に気をつけて日々をお過ごしください。

ご意見ご感想はこちらまで　メールニュース担当（佐藤・渡辺・富山・佐々木）
アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp

◆◇いわて再発見◇◆

【浄法寺漆】

岩手県のてっぺん、二戸市より浄法寺漆（じょうぼうじうるし）をご紹介します。二戸市は、国産漆の約７０％を占める日本一の産地です。良質なものとして知られ、世界遺産でもある中尊寺金色堂や、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などの修理・修復に広く使用されている大変価値の高いものです。